

新技術と一貫製造体制を活かした製品開発 ユーザーニーズを先取りし需要を獲得

明治16年創業、水道用バルブ国内シェア3位の100年企業。ニーズを先取りする開発力と、素材から製品までの一貫製造体制が強み。ライフスタイルの変化に対応した新バルブ開発に努め、ボールバルブ導入や安全・安心を確保する逆流防止用具の普及、高層住宅における新給水システムの提案等、ユーザー目線での新製品開発、付加価値向上に取り組んでいる。信州大学との共同研究や欧米との技術提携等にも、積極的に取り組んでいる。

●所在地 長野県松本市笹賀3046番地

●電話/FAX 0263-58-2705／－

●URL <https://www.nippov.co.jp/>

●代表者 代表取締役社長 菅原 博

●設立 1948年

●資本金 25,000万円

●従業員数 330名



ニーズを先取りする開発力と素材から製品までの一貫製造体制

ライフスタイルの変化に対応しながら、ユーザー目線での製品開発に取り組む。ユーザーの安全・安心のため、新技術を採用した給水管の逆流防止装置の開発等、製品開発でも卓越した技術を有している。鉛の新浸出基準をクリアした鉛レス青銅合金「セイファロイ」を業界に先駆けて開発し、人に優しく環境に配慮した素材として、全ての製品に使用している。素材の調達から始まり、鋳造・加工・組立、出荷まで一貫した自社生産体制と、高品質でニーズを先取りした設計・開発により、他社との差別化を行っている。



素材から出荷までの一貫した自社生産体制

地球環境に配慮した製品・従業員を大切にする職場環境づくり

創業136周年を迎えた同社は、時代を先取りしたものづくりのみならず、従業員や自然環境を大切にしたい経営を行っている。水質保全の観点から、人と自然に優しいエコロジカルな製品づくりに取り組み、ISO14001も取得。従業員の職場環境の改善にも注力し、従来危険な作業工程であったラインに対して、最先端の自動化等の設備を導入し「災害ゼロから危険ゼロへ」を合言葉に、積極的にリスクを回避する労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）を取入れた、安全管理の徹底に取り組んでいる。



労働安全衛生マネジメントシステム認証書

産学官連携による「低圧損減圧式逆流防止器BLH」の開発

欧米発祥の給水用具である「減圧式逆流防止器」の水圧の損失を大幅に低減した「低圧損減圧式逆流防止器BLH」を製品化した。開発にあたり、地元大学との連携を強化し、産学共同研究事業助成金（松本市）の活用、国立大学法人信州大学との2年半の共同研究、さらに経済産業省の平成21年、24年ものづくり補助金を経て、低圧損化の基本原則を、国内外で特許2件を取得。BLHの普及や、より安全な水使用環境の啓発のため、成果を発信し、地域経済の活性化にも寄与している。



BLHと止水栓を組合せたユニット